

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	筑波大学	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ツクバダイガク	
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F108110101423	
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	茨城県	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学	
	科目名	リスク・レジリエンス工学修士/博士インターンシップA,B	
	学部・研究科等名	システム情報工学研究群 リスク・レジリエンス工学学位プログラム	
	担当教職員名・役職	高安 亮紀：助教	
	受講者数実績年度	令和3年度	
	受講者数※インターンシップ参加者数	1	
	受入企業等数	1	
	受入企業等名	(一財)日本自動車研究所	
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ	
		5.他県をまたぐ広域インターンシップ	
		7.大学院生を対象とした研究インターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)			
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい	
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)	
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容		
	1-3.上記回答内容に関する詳細		
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい	
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している	
		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している	
		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している	
		7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している	
	8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している		
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容		
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学院 修士1年	
		大学院 修士2年	
		大学院 博士1年	
		大学院 博士2年	
大学院 博士3年			
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位		
	大学 2単位		
2-5.上記回答内容に関する詳細	大学院博士前期課程・後期課程を対象。期間によりA(1ヶ月程度)、B(2ヶ月以上)を選択し、1~2単位を付与する		

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	受入側と学生ならびに指導教員にて事前協議を行っている
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	レポートを用いて、現場での体験の振り返りを行っている	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	メール等で指導教員へ状況を報告する	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	達成度評価システム
	4-3.上記回答内容に関する詳細	学生の授業以外の学修・研究活動（学会参加、インターンシップ等）も含めた学修状況をチェック可能なシート（達成度評価シート）ならびに面談（達成度評価委員会）等により定期的に確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	時期・期間は受入先と相談。
	5-3.上記回答内容に関する詳細	時期・期間は受入先と相談。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している

素 ⑥		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	テーマ,実習場所,実施期間等を受入側と協議し進めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.risk.tsukuba.ac.jp/lecture.html
問 い 合 わ せ 先	大学等名	筑波大学
	担当部署名	システム情報エリア支援室大学院教務
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	秋葉 一能
	電話番号	029-853-4979
	メールアドレス	sysinfo.kyomu@sie.tsukuba.ac.jp